

詩篇 28 篇の黙想：「嘆き祈るわたしの声を聞いて下さい」（2020 年 5 月 25 日用 TM）

基本的に一人称、「わたし」による主に向かう祈りです。「嘆き祈るわたしの声を聞いてください」（2 節）が 6 節にも繰り返されています。6 節では「主をたたえよ。嘆き祈るわたしに声を聞いてくださった」という賛美・感謝となっています。祈りの格闘の後、祈りが聴かれたことを賛美しています。今日の皆さんの祈りは主に向かっていきますか、それはどのような嘆きでしょうか？

・神の沈黙 1 節に「沈黙しないでください」(l-tehēraš) との祈りが登場します。未完了形ですから「沈黙し続けしないでください」となります。「沈黙」は遠藤周作の作品を引くまでもなく、理不尽で過酷な困難に直面するキリスト者にも深刻なテーマです。木村文太郎先生は、沈黙には三種類あると言います。1) こちらの叫びが相手に届いていない場合、2) こちらの叫びが届いているが、無視された場合、3) こちらの叫びが届いているが、「沈黙」が神の答えである場合。それが、キリストの十字架の叫びの場合であったと言います。深い洞察ですが、皆さんも更に黙想して下さい。信仰者も不信仰者と共に破局的苦難に出会う不条理なこともあるのです。もし「あなたが黙し（続けて）おられるなら/わたしは墓（bōwr 水ため、牢屋、岩に掘られた墓）に下る者とされてしまいます」と「沈黙する」が繰り返されます。1 節「あなたを呼び求める（継続形）」、「お救いください」（9 節）、「嘆き祈るわたしの声を聞いてください」（2 節）によって詩人の魂の叫びが強化されています。

2. 嘆き祈るわたしの声を聞いてください (šama' qōwl tahānūnay bəšawwə'i) 直訳「聴いて下さい。私の嘆願・懇願・哀願の声を、私があなたに向かって叫ぶときに。」2 節の「聞いて下さい」(Qal . Imp.) は未完了過去、6 節は「嘆き祈るわたしの声を聞いてくださった」(Qal Perf.) と完了過去です。あの祈りが聴かれたという感謝と賛美です。祈るだけではなく、祈りが聴かれたことにも目を留めましょう。祈りっぱなしではないですか。「残ったパンを集めること」(マルコ 8 : 8) も大切です。6 節の「主をたたえよ」の原語は「幸いなるかな、主よ」です。「感謝」は何かを与えて下さったこと (gifts) に対してなされるが、賛美は与え主 (the giver) に向けられる (J. モルトマン)。感謝から賛美へ！

3. 王の守護から民衆の救いへ

王と主なる神との対話は、個人的叫びから民衆への救済への執り成しに向かいます。「お救いください、あなたの民を (ammekā)。祝福してください、あなたの嗣業の民 (nahālatekā inheritance 相続財産) を。とこしえに彼らを導き養って下さい」。「油注がれた者」(キリスト) は、「岩」であり、「力」であり、「盾」であり、「砦」であり、「救い」である主なる神の助けと護りの中にありますが、それは民衆の救いのためであり、3 節-5 節に語られる神に逆らう者、悪を行う者、主の御業、御手の業を悟らぬ者たちの愚かさを愚かなものとして示す「義」の働きを証言しています。私たちの執り成しの祈りは、家族あるいは教会の仲間たちに留まっていませんか？執り成しの祈りの広がりについて黙想してみましょう。長い目で見れば、彼らの利己的な想いと暗い欲望は自らを失わせ、自滅してしまうのです。自分で掘った落とし穴に自ら落ちてしまうのです。信仰は忍耐です。

4. 「至聖所に向かって手を上げ」2 節後半で、「至聖所に向かって手を上げ/あなたに救いを求めて叫びます」と言います。直訳は「私があなたの聖なる聖所に (dābīr qādšekā) 向かって私の両手を挙げ続けるときに」です。dābīr は「託宣」を意味し、主が語られる場所を意味しています。「聖なる一番奥」は「至聖所」と翻訳しても良いです。主は天におられると同時にエルサレム神殿におられ、また、捕囚の民と共にバビロンへと赴き、さらに、私たちの交わりの間に、臨在されています。

5. 導き養ってください 詩は「羊飼いのイメージ」で終わります。イザヤ 40 : 11 も参照しましょう。